



## 院長 須藤 英仁

10月7日より、玉田潤平先生をお迎えして、脳神経外科専門外来を始めます。玉田先生は十数年に渡り、国立高崎病院脳神経外科部長として活躍されおり、碓氷安中地区でも多くの患者さんが玉田先生の診療を受けられたと思います。

当院でも脳外科疾患の大部分は、玉田先生にお願いし、病院病院間の連携を図っておりました。私は高崎地区の医師会の先生方にお会いする度に「玉田先生が須藤病院へ行くんだ。」と話題にされ、その存在の大きさが語られておりましたその玉田先生が今月より常勤となり、文字通り碓氷安中地区の脳外科の要となっただけのことになったわけです。

患者さんの皆様、どうぞご遠慮なく脳神経の不安についてご相談され、病の早期発見・早期治療をされますことを、改めてお願いし、玉田先生を迎えての挨拶とさせていただきます。



## たまだ じゅんぺい 玉田 潤平

生年月日 昭和25年1月7日

出身地 東京都

出身校 群馬大学医学部 (S50卒)

10月7日より、須藤病院に脳神経外科（脳外科）部長として勤務することになりました玉田潤平です。自己紹介さ

せていただきます。

群馬大学医学部を昭和50年に卒業後、群大脳外科へ入局し、研鑽を積んでまいりました。その間、いくつもの病院をまわりましたが、最近では老年病研究所脳外科部長、また国立高崎病院脳外科部長とし、数多くの脳外科疾患を診療させていただきました。その中で脳外科の疾患も変化し、脳血管障害が増えてきております。以前は脳出血が多かったのですが、現在では脳梗塞といい、脳の血管がつまる病気の方が多くなってきております。この原因は、患者さんの年齢が高齢化し、より、高脂血症・糖尿病など他の疾患と合併することが多くなってきたことが挙げられます。脳梗塞が発症すると、半身不随など身体が不自由になったり、痴呆の原因となることも多々あります。

幸い、当院には柳沢肇先生が循環器外来、小野智子先生が糖尿病外来また、戸塚・泉・小野聡先生のように癌をはじめ成人病を中心にした診療体制が整っております。また、整形外科の柳沢治先生を中心とした理学療法室も完備しており、脳血管疾患の治療にもチーム医療でしっかりした成果が出せると確信しております。

また、当院では11月より透視台も新しくなり、脳血管撮影などにも対応可能となると聞いております。MRIやCTなどを駆使し、正確な診断を行うとともに、患者さんの負担が少しでも軽くできるような医療を目指し、今までの経験を生かしていきたいと思っています。患者さんの皆様、どうぞ末長くよろしく願いたします。